

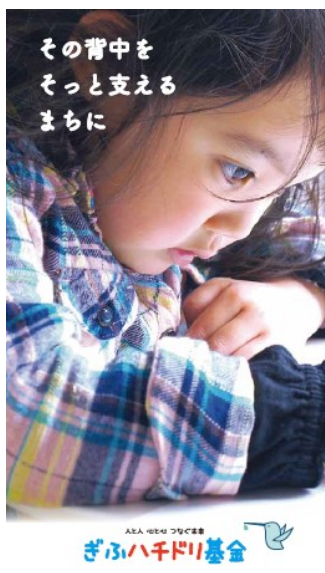
認定NPO法人ぎふハチドリ基金
2019年度事業報告書
(2019.7.1～2020.6.30)



発行：認定特定非営利活動法人ぎふハチドリ基金
〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-12
シンクタンク庁舎3F ぎふNPOセンター内
TEL 058-275-9739 FAX 058-275-9738
Mail hachidori@gifunpo-fund.org

法人の運営に関すること

1. 通常総会 開催日時： 2019年9月19日（木）10:00-12:00
会 場： O K B ふれあい会館 第2棟9階男女共同参画プラザ研修室
出席者： 正会員20人中19人（うち委任状7人）、応援団（賛助会員）2人
2. 理事会・審査委員会
第1回理事会 2019年9月19日 理事長・副理事長の選出
第2回理事会 11月22日 2020年度助成事業募集要項案の決定など
第1回審査委員会 2020年 1月28日 2020年度助成事業募集要項案の検討
第3回理事会 2月6日 2020年度助成事業募集要項の決定など
第2回審査委員会 6月9日 2020年度助成事業採択候補の選定
第4回理事会 6月15日 2020年度助成事業の採択決定など
第5回理事会 9月1日 2020年度総会議題案の決定など
3. 役員 理事 川合宗次（理事長）
（五十音順） 鳥居翼、野村典博（副理事長）
浅井賢二、市來恭子、河原洋之、後藤誠一、酒井隆信、
長野敬子、平井八重子、町野洋亮、森川幸江、横井篤
監事 河野秀明、渡辺成洋
4. 審査委員 委員長 鳥居翼
（五十音順） 副委員長 鬼頭義徳、松岡真帆
委員 川合宗次、川口創、菊本舞、板屋高
5. 事務局体制 事務局長：山田朋子 スタッフ：池戸美子、野尻智周、原美智子、松野英子
（五十音順） ボランティアスタッフ：石川美保、折戸幸恵、相浦良子、長縄麥守子、矢野幸子、吉田栄紀
ホームページ管理・運営：一般社団法人Candeed
6. 会員数 （2020年6月末現在）
正会員 20人 応援団員（賛助会員）個人147人 団体7団体
7. 情報発信
ホームページ <http://gifunpo-fund.org/>
フェイスブック <https://www.facebook.com/gifu.hachidori/>
ぎふハチドリ基金通信
8. ぎふハチドリ基金 スペシャルサポーター
浅井彰子さん（フリーアナウンサー）、粥川なつ紀さん（サクソ奏者、作編曲家）
KazuTomo（岩佐一成さん、伊藤智美さん）（2人組ユニット）



ホームページ <http://gifunpo-fund.org/>

リーフレット

事業に関すること

1. 2019年度助成事業

実施期間 2019年4月1日～2020年3月31日 助成件数 17件 助成総額 2,697,130円

2020年4月10日までに各助成団体から実績報告を受け、5月末までに精査・支払いを完了した。

【A-1】事業助成 全9件 総額1,913,830円

- ①ようろうこども食堂（養老町）
ようろうこども食堂 [138,000円]（総事業費165,763円）
- ②特定非営利活動法人キッズスクエア瑞穂（瑞穂市）
障がい児親子の孤立化を防ぐ地域づくり事業 [280,000円]（総事業費 312,933円）
- ③特定非営利活動法人子援隊（関市）
夏休み学習支援イベントの実施事業 [100,000円]（総事業費132,857円）
- ④子育てサロン愛（郡上市）
地元郡上で、生き辛さを抱えた小・中・青年と障がい児・者が共に劇やダンスを楽しむ活動 [260,000円]（総事業費289,242円）
- ⑤盲重複児・者のこれからを考える会 ポコアポコ（岐阜市）
盲重複障がい者を有する人たちの居場所づくり推進事業 [210,454円]（総事業費362,113円）
- ⑥特定非営利活動法人つむぎの森（各務原市）
親と子どもをつなぐワークショップ [172,500円]（総事業費287,083円）
- ⑦特定非営利活動法人子ラボハウス キキの家（郡上市）
グレーゾーンの小学生支援（サタディ）と未就園児親子支援（リトルキキ） [232,476円]（総事業費329,519円）
- ⑧特定非営利活動法人仕事工房ポポロ（岐阜市）
シングルペアレント支援事業 [221,312円]（総事業費259,554円）
- ⑨フードバンクぎふ（大垣市）
「子ども食堂」を中心にした子ども、若者への食糧支援 [299,088円]（総事業費299,088円）

【A-2】ステップアップ助成 全2件 助成総額380,000円

- ①特定非営利活動法人チャイルドラインぎふ（岐阜市）
子どもたちの声を聴く“受け手”の仲間の輪を広げよう [180,000円]（総事業費212,532円）
- ②一般社団法人もちもちびと（高山市）
誰もが活かされ誰もが生きやすい優しい世界に向かって ネットワークを広げる事業 [200,000円]（総事業費 590,496円）

【B】利用者負担軽減助成 全3件 助成総額223,286円

- ①あしたの支援室（大垣市）
ひきこもり当事者の女子の会「ラルジュ」（交通費負担軽減） [30,416円]
- ②特定非営利活動法人ふる里めいほう（郡上市）
明宝放課後児童クラブ運営事業（利用料補助） [33,500円]
- ③岐阜キッズな（絆）支援室（岐阜市）
「てらこや無償塾」へ通う生活困窮世帯への交通費支援事業 [159,370円]

【C】東海ろうきん未来応援基金「物品購入助成」全3件 助成総額180,014円

- ①任意団体ハッピーハーモニー（岐阜市）
障がい児のための音楽祭
物品：パラバルーンプレイパラシュート1個 [27,000円]
- ②特定非営利活動法人らいふくらうど（山県市）
防災セットによる災害時対応、災害対策啓発事業
物品：防災セット3個 [56,700円]
- ③特定非営利活動法人思い出の絵本展（飛騨市）
出前絵本展「おいしい絵本」でみんな元気！
物品：大型絵本9冊、絵本9冊、パネルシアター4セット [96,314円]

<2019年度助成事業団体からの報告より>

実施期間2019年4月～2020年3月

A-1事業助成

①よろうこども食堂(養老町)

事業名:よろうこども食堂

*養老町中央公民館において、年3回、こども食堂を開催した。
*たくさんの人と楽しく食事をする時間が持てて良かったとの声もいただいた。
*親同士の会話からネットワークが広がり、サポートも行えるようになった。十分ではないが、悩み等も聞ける体制も進んできた。
*食材提供者同士の交流も増え、以前よりも食材の提供をしてくださる方が増えた。



②特定非営利活動法人キッズスクエア瑞穂(瑞穂市)

事業名:障がい親子の孤立化を防ぐ地域づくり事業

*発達に障がいを抱える子どもと家族の体験活動(りんくるα)月1回・休日に開催。「工作あそび」「パフェ作り」「クッキング」「野外遊び」などを実施。
*講演会「遊びの力～子どものためにできること～」開催



*発達に障がいを抱える子どもをもつ親同士の交流ひろば(りんくる)月2回平日開催(第2金曜・第4水曜 10:00～1500 全23回)
未就園児のお母さんから中学生のお母さんまで、幅広い年齢の参加があり、今年は延べ人数108人、託児19人と昨年に比べ増えた。

③特定非営利活動法人子援隊(関市)

事業名:夏休み学習支援イベントの実施事業

*関市内の就学援助受給世帯を対象に、夏休み中に3日間、夏休みの宿題解決の支援と、工作教室と料理教室、居場所などを開催した。
*夏休み期間中の3日間を通じて、「就学援助受給世帯」の保護者に代わって「夏休みの宿題」等の解決のための無償学習支援教室を計画通り開催することができた。
*子どもが集中して勉強できる居場所の提供をすることができた。
*子どもの相談相手(話相手)として、寄り添うことができた。



④子育てサロン愛(郡上市)

事業名:地元郡上で、生き辛さを抱えた小・中・青年と障がい児・者が共に劇やダンスを楽しむ活動

*障がい児・者と小中高ボランティアが共に劇やダンスを楽しむ会を全6回開催した。その間に、企画や学習会や振り返りの定例会を10回開催、12月には、発表会と演劇鑑賞を実施した。

*様々な環境から《人間関係を構築すること》に臆病になり生き辛さを抱えた小・中・青年と、障がいゆえに《人間関係を構築すること》に不器用な障がい児と、差別・偏見の中で生きてきて《人間関係を構築すること》に恐怖を感じている若者の三者が、劇やダンスを楽しむ活動を通して、集う時間と場になった。
*インストラクターのダンスや劇遊びに、歓声と拍手が湧き、特に、障がい児の保護者が、我が子の将来の姿に光を感じたと語っていた。



⑤盲重複児・者のこれからを考える会 ポコアポコ(岐阜市)

事業名:盲重複障がい有する人たちの居場所づくり推進事業

*視覚障がいと知的障がい有する当事者の居場所づくりと手作り品などを販売しながら、地域の人と交流する活動を15回実施した。
*会員一同が皆様のご支援を受けることが励みとなり、一丸となって活動に取り組めたことが一番良かったと思う。
*11月のポコアポコ・アンダンテ祭りには多数の地域住民の方々に参加され、日頃は、静かな地域がおおいに賑わいを見せてくれた。祭りに伴い、堤防周辺の草刈りや清掃活動を行ったことも、喜んでいただけた。
*障がい者が地域で共生して生きられる社会の実現のためには、こういった地道な取り組みが大切だと考える。



⑥特定非営利活動法人つむぎの森(各務原市)

事業名:親と子どもをつなぐワークショップ

*生きづらさを抱えた若者とその親を対象に、「トーク&ライブ1回、「親と子どもの心をつなぐワークショップ」を4回開催した。参加者は、トークライブ100人、ワークショップのべ54人

*つむぎの森10周年記念事業として「生きごこちのいい暮らし」をテーマに一年を通じて活動をした。そのキックオフとして、歌手の木歌さんに、この世界に生まれたことの大切さを歌を通じて投げかけていただいた。その後、新たに元当事者たちが赤ちゃんを連れて集うママさんサークル「まんま」が生まれた。

*4回の講座では、NVCという手法を学び、自分の本当のニーズがどこにあるのかを知ることで、感情に変化が生まれるということを体験した。ご夫婦やお父さんが参加され、家族の中で本音を語ることの大切さを知るいい機会となった。



⑦特定非営利活動法人ラボハウス キキの家(郡上市)

事業名:グレーゾーンの小学生支援(サタディ)と未就園児親子支援(リトルキキ)

*グレーゾーンの小学生を対象とする土曜日の居場所(サタディ)を8回、子育てに困難を感じている親子を対象とする親子の居場所(リトルキキ)を毎週木曜日、計44回開催した。サタディ参加者はのべ41人、リトルキキ参加者はのべ317組。

*お母さんたちが、子どもに対する声掛けや行動がうまくなった。また、親同士の信頼関係も築かれ、自分の困っていることを話し、解決はできないが自分一人ではないと共感したり、心の支えの場となった。家族の力を得ることなども話題となり、自分一人で抱え込まず少しでも子育てを楽しんでいる人が増えた。



⑧特定非営利活動法人仕事工房ポロ(岐阜市)

事業名:シングルペアレント支援事業

*ひとり親家庭を対象に、交流会(ホットサロン)(10回)やイベント(バーベキュー、サマーキャンプ、クリスマス会)、無料法律相談会(4回)を開催した。

*サロン参加者の感想として「意見交換ができるのがいい」「そうそう!あるある!といった話でリラックスした時間を過ごせた」「色々なことが話せてよかった」「ひとりで考えていると煮詰まってしまうので相談できるところがあるのはありがたかった」といった声があった。

*BBQやキャンプ、クリスマス会等では、子ども同士が仲良くなって遊んでいる姿が見られ、親同士がゆっくりおしゃべりできる時間にもなった。
*「無料法律相談会」には毎回申込があり需要の高さが伺えた。



⑨フードバンクぎふ(大垣市)

事業名:「子ども食堂」を中心にした子ども、若者への食糧支援

*「子ども食堂」「学習支援」などを実施している団体への食材、食品配布…11か所のべ440人分以上。ひとり親家庭、多子家庭、外国籍家庭などへの食品配布…42軒
*新たに、東海コープからの毎週1回という定期的な冷蔵品の回収の形を確立することができた。

*3大提供元からの食品を安定的に回収できるようになったことで、食品を必要としている子育て家庭や、子ども食堂等の団体からの新たな要望に応えることができるようになり、配布対象を広げることができた。
*食品の入荷状況・出荷状況・入出金の記録を管理できるサポーターを加えることができ、事業の状況把握が前進した。



A-2ステップアップ助成

①特定非営利活動法人チャイルドラインぎふ(岐阜市)

事業名:子どもたちの声を聴く“受け手”の仲間の輪を広げよう

*子どもがかかる無料相談電話「チャイルドライン」の受け手を養成する連続講座(4日間)を開催した。参加者は合計26人であった。

*当団体の持つ課題の中で、急務を要するのが人材です。助成金をいただいたことで、受講料を安くでき、参加者を増やすことができた。

*講座の広報をすることで、チャイルドラインの活動の広報もあわせて行えた。その中からの1コマの受講者があり、そして次回は全講座参加の希望もあり、広がりを感じた。

*会員がステップアップの講座として参加でき、各自のレベルアップにつなげる機会になった。普段の活動では顔を合わせない会員同士の意見交換の場にもなり、1月に行った新規プログラムの研修の参加者増にもつながり、団体全体が活性化していることを実感している。



②一般社団法人もちもちびと(高山市)

事業名:誰もが活かされ誰もが生きやすい優しい世界に向かってネットワークを広げる事業

*現在精神面に困難を抱えている当事者やこの先困難を抱えるかもしれない人(地域住民)を対象に、ピア座談会(11回)(当事者のべ58人)、いろんなひと座談会(12回)(地域住民のべ83人)と「ひるねこミーティング」イベントを開催(10/19)(参加者40名)を開催。「全国若者・ひきこもり協同実践交流会」(2月)にスタッフ3名が参加。

*「ピア座談会」:心の問題を抱えた当事者の方々が、同じ悩みを抱える人たちと繋がり、苦しみを話すことで、気持ちが楽になったり、孤独感を減らせたという声があった。共感者や発信の場の必要性を改めて当事者と共に感じられたことは大きな成果だった。

*「いろんなひと座談会」:思いの在る方と、様々な意見交換をすることができ、ピア座談会で掴んだ「生きづらさを抱える方を取り巻く地域の課題」について、地域の方へ発信することができた。

*「ひるねこミーティング」イベント:当事者と支援者、立場の垣根なく、対等にテーマについて思いを語り合うことで、【誰もが困難を抱える側、支える側にいつでも成り得る】という意識を共有することができた。



B 利用者負担軽減助成

①あしたの支援室(大垣市)

事業名:ひきこもり当事者の女子の会「ラルジュ」

*ひきこもり当事者・不登校の女子の居場所を月1回開催。利用者の交通費を補助した(13人分)。

*「ラルジュ」に集った方たちが、互いの辛い思いを分かち合う場となっている。

また、思いを打ち明けられなくても、「ここで、同年代の中に居たい、感じたい」と言ってここに来る子もいて、安心していられる場所＝居場所だと感じられた。

*交通費の負担軽減は、遠方から参加する子にとっても、送迎をする親にとっても、安心して参加できる条件の一つになっている。

*生活経験の不足から「一人では電車に乗れない」と言う子に付き添うことで、次第に自信をもって一人でも公共交通機関を使うことができるようになった。

②特定非営利活動法人ふる里めいほう(郡上市)

事業名:明宝放課後児童クラブ運営事業(利用料補助)

*母子家庭の子どもの放課後児童クラブの利用料を補助した(対象者1人)。

*出席日数204日学童を利用した。母子家庭のお子さん一人の利用料軽減により経済的助けとなり、安心した生活を送ることができた。姉と年子の弟との姉弟の2名でずっと放課後児童クラブを利用していたが、昨年、姉が小学校を卒業、弟もこの春に卒業となる。2年生になる春に明宝に引っ越してきて以来5年間、児童クラブの合計利用日数は1,070日。今では児童クラブの最長老となり、低学年の小学生の良きお兄さん替わりでもあり、指導員の手伝いまでしてくれている。中学生となった姉が、児童クラブのボランティアとして手伝ってくれるようになった。

③岐阜キッズな(絆)支援室(岐阜市)

事業名:「てらこや無償塾」へ通う生活困窮世帯への交通費支援事業

*毎週土曜と夏休みに無償塾を合計50回開催。利用者の交通費を補助(対象者33人)。

*生活困窮家庭の多くが、「てらこや無償塾に通わせたいが、交通費を出すのは負担」と考えていた。バス代は、中高校生は大人料金で、毎週参加となると2000円近い費用、また、兄弟で参加となると2倍の出費となり、ためらう保護者も多い。交通費を支給することにより、子どもも保護者も安心して通えるようになった。その結果、毎週きちんと通えるようになった子ども達が多かった。毎週通えると、精神的にも学力的にも安定して、学習意欲や学力の向上が見られた。より効果があった事例として、生活困窮世帯の高校生は、アルバイトで自分の小遣いや家に入れるお金までも賄うようになる子が多く、自費なら恐らく来ないであろう子が、2月になり「単位が危ないから学校を辞める」と相談しに来た。残り数単位の事なので急ぎ学習条件を整備し、進級へと結びつけた。交通費を支給していたため毎週来るので、そうした緊急の相談にも瞬時に対応できた。「無事に単位とれた。一番に報告」と学校から電話をかけてきた時には、私たちの活動が子どもに通じていることがわかり涙した。交通費を高校生にも支給することにより、高校中退を阻止できている。この軽減事業は、「子どもや家庭がお金の心配なく塾に通える」環境整備に、非常に効果があると感じている。

C 東海ろうきん未来応援基金 物品購入助成

①任意団体ハッピー・ハーモニー(岐阜市)

事業名:障がい児のための音楽祭

*パラバルーンプレイパラシュート1個を購入

*障がい児・者、およびその家族を対象にバリアフリーコンサートを2回開催、その中でパラバルーンを使ったパフォーマンスを実施した。

*障がい児にもプロの生演奏による音楽の魅力を味わってもらいたいという思いから障がい児・者とその親が他者へ気兼ねなく参加できる、バリアフリー音楽会を開催。

*パラバルーンを使ったパフォーマンスは、子どもたちを大きく刺激しコンサートのクライマックスを盛り上げた。



②特定非営利活動法人いふくらうど(山県市)

事業名:防災セットによる災害時対応、災害対策啓発事業

*防災セット3個を購入

*放課後等デイサービス「ゆう」の利用者の外出時に、防災セットを活用したり、保護者への防災への啓発活動を行った。また、山県市福祉課に対し、障害のある方々や一人親家庭など社会的に弱い方々への避難対策の提案に活用した。



③特定非営利活動法人思い出の絵本展(飛騨市)

事業名:出前絵本展「おいしい絵本」でみんな元気!

*大型絵本9冊、絵本9冊、パネルシアター4セットを購入

*保育園、乳幼児学級、子育て支援センター等の親子が集う場で、絵本の読み語り(パネルシアターを含む)を全24回と絵本展の開催2回(全37日)

*大型絵本が購入でき、大勢の子ども達にもとても見やすく絵本を楽しんでもらうことができた。たくさん絵本が購入でき、絵本の幅も増えいろいろな絵本に興味を持ってもらうことができた。



2. ハチドリCafé開催事業

県内5会場で、ぎふハチドリ基金の助成団体の活動報告を聞き、子ども・若者・子育て家庭を取り巻く地域の課題について語り合う交流会を開催する予定で準備したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、予定していた内容での開催ができなかった。交流会が開催できたのは、恵那会場（3/29）だけで、多治見会場（3/8）、大垣会場（3/15）は助成事業の個別相談のみ、岐阜会場（4/11）、高山会場（4/18）は緊急事態宣言発令により中止とした。

多治見会場 2020年3月8日（日） 会場 とうしん学びの丘エール 多目的室
個別相談 2団体

大垣会場 2020年3月15日（日） 会場 大垣市情報工房 会議室4
個別相談 4団体

恵那会場 2020年3月29日（日） 会場 中央公民館 多目的研修室
活動報告団体 NPO法人仕事工房ボボロ（理事長 中川健史氏）
テーマ：子ども・若者を地域ネットワークで支える
参加者 9人（スタッフを含む）

※「ハチドリCafeスピノフ企画」の開催

2019年6月より、ハチドリ応援団の有志で「ハチドリ実行委員会」を結成。支援者を増やす方法について月1回、意見交換を行ってきた（4月～6月はコロナのため休止）。
その中で、応援団を増やす目的で、「ハチドリCafeスピノフ企画」を考えた。
実行委員会の主催で、「ハチドリCafe」を、お茶菓子代参加者負担で、3回（8月、10月、12月）開催した。
ゲストも無償で来ていただいた。
この3回のスピノフ企画で、合計17人に応援団になっていただくことができた。

「ぎふハチドリ基金通信」より抜粋

ハチドリCafeスピノフ企画 第1弾

2019年8月25日 羽島市 会場：岐阜羽島ボランティア協会かみなり村北館
参加者は28人。ゲストは、岐阜キッズな（絆）支援室代表の若岡ます美さん。てらこや無償塾での活動と困難な状況にある子どもたちが頑張っているお話を聞き、「子どもの貧困」は、見えにくいけどすぐそばで起きている問題であることがよくわかりました。デザートは、地元羽島の名物スイーツ「みそぎ団子」（梅雨の時期から夏までの限定販売）。名店「入船」さんのみそぎ団子（甘辛くて、やさしい味！ボリュームたっぷり！）を味わいながら、グループ交流をしました。初めてぎふハチドリ基金のことを知ったという方も多く、真剣に話を聞いていただきました。

ハチドリCafeスピノフ企画 第2弾

2019年10月27日 瑞穂市 会場：瑞穂市東南公民館 ふれあいホール
参加者は総勢35人。ハチドリ基金を知らなかった人から、SNSで知って参加してくださった人、色々な方が集いました。ゲストは、あしたの支援室の伊藤桂子さん。心にしみるおだやかな語り口で、子どもたちを取り巻く困難について話してくださいました。伊藤さんの子どもたちに寄り添う姿勢に感動しました。そのあとぎふハチドリ基金の説明を聞きながら、NPO法人キッズスクエア瑞穂のお勧め、Le Vanillier（ルバニーエ）秋の5種類のケーキから、それぞれ好きなものを選んで食べました。グループトークでは、時間を忘れて色んな想いを語り合いました。

ハチドリCafe スピノフ企画 第3弾

2019年12月8日 岐阜市 会場：岐阜市栗野 コミュニティ・カフェわおん
参加者は19人。ゲストは、「コミュニティ・カフェわおん」を運営しているNPO法人コミュニティサポートスクエアの理事長の杉浦陽之助さん。今まで取り組んでこられた子ども・若者支援や被災地支援の話、わおんで開催している「おとなも子どももOK食堂」の話などをお聞きました。テーブルには、わおん名物の「ゆず塩焼きそば」と、杉浦さん特製の長野県産のりんごを使った「アップルケーキ」。アップルケーキは、次回の「おとなも子どももOK食堂」でも提供されるとのこと。台風10号の被災地、長野県を応援したいという思いの詰まった美味しいケーキでした。テーブルごとの交流では、子ども食堂、学習支援など、皆さんが興味を持った話題についての話が続きしました。



3. 認定NPO法人取得準備事業（損保ジャパン福祉財団助成事業）

2018年度までの実績を元に、2019年度中の認定NPO法人取得を目指して、申請書類の準備や作成をしてきた。
 2019年10月に損保ジャパン福祉財団（現：SOMPO福祉財団）の2019年度認定NPO法人取得資金助成に申請し、採択された。
 2020年2月に、損保ジャパン福祉財団と損保ジャパン株式会社岐阜中央支店の皆様に、助成金贈呈式をしていただいた。

<認定NPO法人取得までの活動>

- 2019年7月～9月 決算、総会準備、事業報告
- 10月～11月 申請書類作成・県への事前相談等
- 11月22日 理事会にて最終確認
- 12月27日 申請書提出
- 2020年1月～2月 実査に向けて、内部書類の整理
- 2月25日 岐阜県の実態調査
- 3月18日 認定NPO法人の認定

- *新型コロナウイルスの感染防止のために、集会・イベントが制限されたため、交流会等が開催できなかったが、応援団・支援者の皆様には、文書や通信などで報告した。
- *新しい支援者（寄付者・応援団）を募集するチラシを作成した。

中日新聞2020年2月9日



◇ぎふハチドリ基金に助成金 損保ジャパン日本興亜が出資する損保ジャパン日本興亜福祉財団は5日、子どもや若者、子育て家庭を支援する県内のNPOに資金を提供する「ぎふハチドリ基金」に助成金30万円を贈った。

岐阜市数田南のOKBふれあい会館で開かれた贈呈式で、損保ジャパン日本興亜岐阜中央支店の重定祐輝支店長が写真①が「皆さんの活動をできる限り応援したい」とあいさつ。同基金の浅井賢二理事②同③に贈呈書を手渡した。浅井理事は「大変ありがたい」と応えた。

岐阜新聞2020年2月6日



ハチドリ基金に30万円 損保ジャパン財団が寄付 子ども支援

損保ジャパン日本興亜福祉財団（東京）は5日、子どもや子育て家庭の支援に活動資金を拠出する岐阜市のNPO法人「ぎふハチドリ基金」に、2019年度NPO基盤強化助成金として30万円を贈った。

ぎふハチドリ基金は、県民や企業からの寄付を支援し、県内で子どもの学習費

援を引きこもり状態の若者、引きこもりなどを抱える若者の居場所づくりなどに力を入れる。今回の財団からの助成金は、同財団からの助成金として活用する。贈呈式が岐阜市数田南のOKBふれあい会館であり、同基金の理事が、浅井賢二理事に贈呈書を手渡した。

同基金は同財団の社会貢献活動の推進を目的とし、2014年度に設立された。活動資金は、同基金の活動に約1430万円を助成する。（中山大樹）

SOMPO福祉財団NEWS 2020年度vol.1より

岐阜中央支店



無料学習支援や子ども食堂、引きこもりの若者をサポートする運営団体に寄付金を配布することで間接的に困っている方々をサポートされています。岐阜県内でもこういった活動はまだ皆さんに知られていません。まずは知ることから始めて行くことが企業に求められているのだと感じました。企業の果たすべき役割（CSR）についても考えることができ、とても良い機会になりました。

[岐阜中央支店 支店長 森本さん]

<特定非営利活動法人 ぎふハチドリ基金>

#こんなときだからこそ...

ハなれていても 千かくにいるよ
 ドんなときでも ひと/じゃないよ

ハチドリ応援団に なりませんか?

だれかのために つながること
 かがあること いまできること

認定 NPO 法人
ぎふハチドリ基金
 TEL: 090-6736-9739
 E-Mail: hachidor@gifunpo-fund.org
 http://gifunpo-fund.org/

#こんなときだからこそ...

ハなれていても 千かくにいるよ
 ドんなときでも ひと/じゃないよ

寄付を してませんか?

だれかのために つながること
 かがあること いまできること

認定 NPO 法人
ぎふハチドリ基金
 TEL: 090-6736-9739
 E-Mail: hachidor@gifunpo-fund.org
 http://gifunpo-fund.org/

県第483号の2
 令和2年3月18日

岐阜県岐阜市数田南5丁目14番12号
 岐阜県シンクタンク庁舎内
 特定非営利活動法人ぎふハチドリ基金
 代表 川合 宗次 様

岐阜県知事 古田 肇

認定特定非営利活動法人として認定した旨の通知書

令和元年12月27日付けで提出された認定特定非営利活動法人としての認定を受けるための申請について、特定非営利活動促進法第45条の規定により、下記の期間を有効期間として、貴法人を認定することとしたので通知します。

記

自 令和2年3月18日
 認定の有効期間 至 令和7年3月17日

4. 2020年度助成事業募集に関する事業

2020年度助成事業募集から採択決定まで、次のようなスケジュールで実施した。
募集要項案の決定：第1回審査委員会（2020年1月28日）
募集要項の決定：第3回理事会（2020年2月6日）
募集要項の公開：2020年3月1日（HPにて）
募集説明会：多治見会場（3/8）、大垣会場（3/15）、恵那会場（3/29）
募集期間：2020年4月1日～5月20日 個別相談期間：2020年3月20日～5月10日
採択事業候補の選定：第2回審査委員会（2020年6月9日）
採択事業の決定：第4回理事会（2020年6月15日）
採択証書授与式と説明会の開催：2020年6月24日 会場 ぎふメディアコスモス

<1>2020年度助成事業募集内容

岐阜県内で子どもや若者、子育て家庭等を支える活動をしているNPO等の非営利団体に対して、以下のようなメニューで助成事業を募集した。

【A-1】事業助成 1件あたり上限30万円 総額150万円程度

様々な困難を抱える子どもや若者、子育て家庭を支援する以下のような事業に対して、必要な費用を助成する。

<対象事業>

- (ア) 子どもの貧困対策（貧困の連鎖を断ち切る）事業
 - 1) 学習支援事業/2) 子ども食堂事業/3) 一人親家庭の支援事業
 - 4) 子どもの居場所提供事業/5) 児童養護施設等の退所者の自立を支援する事業
 - 6) その他「子どもの貧困対策」に資する事業
- (イ) 学齢期の子どもの「不登校・いじめ問題」等の課題に取り組む事業
- (ウ) 若者の「ひきこもり」等からの脱却を支援する事業
- (エ) 障がい児者を支援する事業
- (オ) 発達障がい、多胎、ダブルケア等、課題を抱えた家庭を支援する事業
- (カ) その他、子どもや若者をめぐる課題を解決するための事業

【A-2】ステップアップ助成 1件あたり上限20万円 総額100万円程度

子どもや若者、子育て家庭の抱える困難を解決するための活動を新しく始めたり、今までの活動を向上または安定させるために必要な費用を助成する。

<対象事業>

- (ア) 法人格取得のための準備事業 (イ) 新規事業のニーズ調査事業 (ウ) 資金調達の仕組みづくり事業
- (エ) スタッフのスキルアップ研修事業 (オ) その他、事業や団体の基盤強化のために必要な事業

【B】利用者負担軽減助成 1件あたり上限20万円 総額80万円程度

団体で行っている活動の利用者負担分を、経済的困窮家庭に対して軽減する場合、団体が負担した軽減分を補てんする。

<対象事業>

- (ア) ファミリー・サポート事業、学童保育事業など、子どもを預かる事業
- (イ) 困難を抱える家庭の子や若者への個別支援事業
- (ウ) その他、「ぎふハチドリ基金」の設立趣旨に沿った内容と思われる事業

【C】東海ろうきん未来応援基金「物品購入助成」 1件あたり上限10万円 総額20万円程度

東海労働金庫の社会貢献商品に拠っていただいた寄付金を活用する特別メニュー。

困難を抱える子どもや若者、子育て家庭の支援する事業に必要な物品で、以下の条件すべてにあてはまるものの購入について助成する。

- ① 支援活動のために継続して使用するもの
- ② 1年以上使用し、形として残るもの
- ③ 「ぎふハチドリ基金×東海ろうきん助成」と明記して使用できるもの

<2>採択事業について

審査委員会と理事会の決定により、以下の事業が採択された。

助成事業の実施期間：2020年4月1日～2021年3月31日

採択数 全17件（申請数19件）総額3,139,856円

【A-1】事業助成 申請数7件 採択数7件 合計1,773,550円

- ① 特定非営利活動法人心をつなぐホースセラピーぐりん・はあと（本巣市）
生きづらさを抱えた子どもたちの自然体験活動「びのきお」 [255,000円]
- ② 地域たすけあいの会（美濃加茂市）
こども・若者の自立を目指す料理教室 [300,000円]
- ③ 特定非営利活動法人子ラボハウス キキの家（郡上市）
グレーゾーンの小中学生支援（サタディ）と未就園児親子支援（リトルキキ）とサタディOBの集い（サンディ） [300,000円]
- ④ 子育て支援いちご（養老町）
ようろうこども食堂 [134,600円]

- ⑤特定非営利活動法人あゆみだした女性と子どもの会（岐阜市）
面会交流支援事業 [300,000円]
- ⑦特定非営利活動法人こぎつねくわーど（恵那市）
子育て支援居場所作り「こぎつねの森」 [200,000円]
- ⑧ぎなんプレーパークの会（岐南町）
大人も子どもも学びあい、まざりあう場づくり～不登校児童生徒の居場所づくり～ [283,950円]

[A-2] ステップアップ助成 申請数4件 採択数3件 合計546,706円

- ①alca(あるくま)（多治見市）
「アレルギーっ子 たじみあるくまっぷ」作成・普及事業 [200,000円]
- ②特定非営利活動法人仕事工房ポポロ（岐阜市）
不登校・ひきこもりの子ども、若者とのコロナ後の新たな「オンライン居場所」の可能性の探求とAKIRAオンラインライブ開催 [200,000円]
- ③Kinder Land（各務原市）
法人格取得の準備とリーフレット作成事業 [146,706円]

[B] 利用者負担軽減助成 申請数5件 採択数5件 合計619,600円

- ①あしたの支援室（大垣市）
ひきこもり当事者の女子の会「ラルジュ」（交通費負担軽減） [50,000円]
- ②特定非営利活動法人ふる里めいほう（郡上市）
明宝放課後児童クラブ運営事業（ひとり親家庭の利用料軽減） [111,600円]
- ③岐阜キッズな（絆）支援室（岐阜市）
「てらこや無償塾」へ通う生活困窮世帯への交通費支援事業 [200,000円]
- ④特定非営利活動法人東濃こどもレスキューミッションJスペース（瑞浪市）
学童保育ひまわりハウス（ひとり親家庭の登録料減免） [90,000円]
- ⑤特定非営利活動法人学習館みずほ（瑞穂市）
放課後子ども教室（ひとり親家庭の利用料軽減） [168,000円]

[C] 東海ろうきん未来応援基金「物品購入助成」申請数3件 採択数2件 助成総額200,000円

- ①一般社団法人ぎふ学習支援ネットワーク（岐阜市）
生活困窮世帯など学習に困難を伴う子どもたちへの学習支援事業（物品：教科書10セット） [100,000円]
- ②CoderDojo東濃（岐阜）（多治見市）
プログラミング教室事業（物品：プログラミング用パソコン2台） [100,000円]

* 2020年度助成事業の最終助成金支払額は、事業終了後に確定します（実際の支出は、2020年度）。

2020/06/30 岐阜県 岐阜近郊総合(岐阜市など)

15 岐阜近郊総合 2020年(令和2年)6月30日(火曜日) 中

ハチドリ基金 17団体に助成

岐阜事業内容紹介
子どもや若者を支える団体を支援するNPO法人「ぎふハチドリ基金」は二十四日、本年度の助成を採択した十七団体を同日、岐阜市司町のぎふメディアアოსモスで、それぞれの事業内容を紹介した。

理事長は「ほとんどの団体が手弁当で活動している。こうした支援で草の根の小さな取り組みが広がり、必要の人に届くと感謝した。」(安江紗那)

〇その他の助成を受けた団体は、地城を駆け回るNPO法人「全うホリスティック」が、NPO法人「あゆみだした女性と子どもの会」NPO法人「きつねくわーど」

寄付を原資に、子どもや子育て家庭を支える活動に助成している認定NPO法人「ぎふハチドリ基金」が、岐阜市は本年度17団体に総額314万円の助成を決定し、24日には岐阜市司町のみなぎの森で、メディアアოსモスで発表会を開いた。写真。

同基金は2012年度から助成事業を実施。今年度は、

17団体に計314万円助成

新型コロナウイルスの影響で募集財源を閉じかけたが、例年と同様の19団体が必要職員が代表で「こぎつねくわーど」鳥居屋敷委員長が代表で「こぎつねくわーど」岐阜市の近藤理事長に採択証を手渡した。(武藤優子)

他の助成先は次の通り。
地城を駆け回るの会(金澤加茂市)五ホリスティックの家(各務原市)ふる里めいほう(郡上市)子育て支援居場所作り「こぎつねの森」(恵那市)あゆみだした女性と子どもの会(岐阜市)あゆみだした女性と子どもの会(岐阜市)あゆみだした女性と子どもの会(岐阜市)あゆみだした女性と子どもの会(岐阜市)あゆみだした女性と子どもの会(岐阜市)あゆみだした女性と子どもの会(岐阜市)

めオンライン会をしたい」「遠隔での学習支援がしたい」など、事業内容にも新型コロナウイルスの影響が出てきている。

授与式では川合宗次理事長が、コロナ禍の影響で児童福祉が増えている。それらの団体の一層の活動を支援するとあいさつし、鳥居屋敷委員長が代表で「こぎつねくわーど」岐阜市の近藤理事長に採択証を手渡した。(武藤優子)

他の助成先は次の通り。
地城を駆け回るの会(金澤加茂市)五ホリスティックの家(各務原市)ふる里めいほう(郡上市)子育て支援居場所作り「こぎつねの森」(恵那市)あゆみだした女性と子どもの会(岐阜市)あゆみだした女性と子どもの会(岐阜市)あゆみだした女性と子どもの会(岐阜市)あゆみだした女性と子どもの会(岐阜市)あゆみだした女性と子どもの会(岐阜市)

岐阜新聞2020年6月25日

5. 寄付募集に関する事業

寄付金の状況（2019年7月1日～2020年6月30日）（受取順、敬称略）

○企業からの寄付 7件

株式会社エフエナジー、トラスト電工業株式会社、ヘナ専門美容室月と風
有限会社ウメイチ、SSC株式会社、有限会社雷屋、東海労働金庫

○団体からの寄付 4件

（一財）岐阜県職員互助会、とうしん地域活力研究所、
岐阜県労働者福祉協議会、NPO法人仕事工房ポポロ

○個人からの寄付 のべ46件

○募金箱からの寄付 のべ18件

○ネットからの寄付（クリック募金、ソフトバンクかざして募金） のべ7件

合計2,861,750円（指定受取寄付金）

○寄付付き自動販売機の設置 2020年6月23日～ 積和建設中部株式会社岐阜支店

○特定非営利活動法人ぎふNPOセンターより、事業の運営に対する寄付500,000円を受けた。



ぎふハチドリ基金の川合宗次理事長（左）と梅田生取緒役員（右）が握手している。梅田氏は「ぎふハチドリ基金」の設立を支援しているNPO法人「ぎふハチドリ基金」の代表者として、同社に十二万六千八百円を寄付した。同社は毎年、成人式の着物レンタルや写真撮影で同店を利用した新成人一人につき百円を、同基金に寄付している。四年目の今年は千二百六十八人分を寄付した。

十六日に岐阜市内で贈呈式があった。同社の梅田生取緒役員は「成人式を迎えられるのは家族や地域の人の支えがあれば」と、感謝の言葉を述べた。梅田氏は「世々に送りたい」と話した。

寄付金は、子ども食堂や障害児の学習支援などに取り組む他団体への助成金の原資として活用される。（井上）

中日新聞 2020年1月19日朝刊



「1本飲んで」児童支援
積和建設 社内に募金付き自動販売機
岐阜支店 積和建設中部株式会社岐阜支店が、積和建設中部岐阜支店（瑞穂市野白新田）に初めて設置された。飲料1本につき10円が同基金に寄付され、児童虐待防止や子育て支援といった活動に役立てられる。

地域貢献の一環として基金への協力を申し出て、募金付き自動販売機1台を社内休憩所に設置した。総務部の大橋香織係長（41）は「設置料もかからず、購入者は気軽に社会貢献でき

積和建設中部岐阜支店 売上げの一部が指定NPO法人へ寄付される自動販売機

基金の山田朋子事務局長は「新しい」と話した。

（60）は「新たな寄付手段の先進事例としてホームページで紹介し、協力を呼びかけたい。設置箇所が一つでも増えてくれた」と語った。（武藤直子）

6. その他

①運営相談

助成事業を実施している団体や申請を検討している団体に対して、会計書類の作成方法や団体の決算書類の作成のサポートをした。他の助成金情報なども紹介した。

②情報発信

- ・ぎふハチドリ基金通信を4回発行した（29～32号）。*号数は、法人化前から引き継いでいる。
- ・Facebookによる情報発信を随時行った。

③研修会などの参加

日本ファンドレイジング協会主催 ファンドレイジングジャパン2019参加（9/14～15）

④他団体イベント後援

子ども・若者・子育て家庭支援につながる講演会等の後援をし、広報・集客に協力した。

○地域で支える～生きづらさに寄り添って～Vol.2～4（主催：(社福)岐阜羽島ボランティア協会）

○岐阜版若者・ひきこもり協同実践交流会（2019.9.22）

（主催：岐阜県版若者・ひきこもり協同実践交流会実行委員会）

⑤他団体との協働

岐阜県社会福祉事業団が社会貢献活動として、清流ラーメンを無償提供することになり、その提供先の募集に協力した。次年度以降も協力予定。



熱々ラーメンどんぞろ
岐阜県社会福祉事業団が、清流ラーメンを無償提供している。岐阜県社会福祉事業団が、清流ラーメンを無償提供している。岐阜県社会福祉事業団が、清流ラーメンを無償提供している。

岐阜新聞 2020年2月16日

会計に関すること

2019年度決算報告

期間: 2019年7月1日～2020年6月30日

指定正味財産は、助成事業用の資産として分けて管理しています。一般正味財産は助成金事業以外の事業に使える資産です。

貸借対照表

2020年 6月30日 現在

(単位: 円)

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未払金	268,364
現金	9,525	前受金	324,000
普通預金	1,212,370	預かり金	8,776
助成事業用資産	6,420,374	流動負債合計	601,140
現金・預金計	7,642,374	負債合計	601,140
(債権)		正味財産の部	
未収金	37,162	一般正味財産額	642,993
債権計	37,162	うち前期繰越一般正味財産額	(458,512)
(その他の流動資産)		当期一般正味財産増減額	(184,481)
前払金	13,200	当期指定正味財産額	6,448,603
その他の流動資産計	13,200	うち前期繰越指定正味財産額	(6,239,100)
流動資産合計	7,692,736	当期指定正味財産増減額	(209,503)
資産合計	7,692,736	正味財産合計	7,091,596
		負債及び正味財産合計	7,692,736

財産目録

2020年 6月30日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)			
現金	9,525		
普通預金	1,212,370		
十六銀行 1 ふれあい会館	(998,370)		
郵便振替(会費・寄付金用口座)	(0)		
ゆうちょ銀行	(214,000)		
助成事業用特定資産	6,420,479		
十六銀行 2 ふれあい会館(寄付金用口座)	(366,476)		
大垣共立銀行ふれあい会館(寄付金用口座)	(9,897)		
東海ろうきん 岐阜支店(寄付金用口座)	(266,512)		
東濃信金 那加支店(寄付金用口座)	(68,185)		
大垣共立銀行(助成事業用口座)	(5,709,409)		
現金・預金計	7,642,374		
(債権)			
未収金	37,162		
会費分	(5,000)		
旧口座入金分	(20,143)		
一般正味財産から振替予定	(10,000)		
指定正味財産から振替予定	(2,019)		
債権計	37,162		
(その他流動資産)			
前払金	13,200		
他団体会費	(13,200)		
売上債権計	13,200		
流動資産合計		7,692,736	
資産合計			7,692,736

《負債の部》

【流動負債】

未払金	268,364		
事業経費	(132,543)		
管理費	(123,802)		
指定寄付金へ振替予定	(10,000)		
一般正味財産に振替予定	(2,019)		
前受金	324,000		
応援団会費	(14,000)		
正会員会費	(10,000)		
東海ろうきん助成金	(300,000)		
預り金	8,776		
報酬源泉税	(8,776)		
流動負債合計		601,140	
負債合計			601,140

【正味財産】

一般正味財産	642,993		
指定正味財産	6,448,603		
正味財産			7,091,596

活動計算書
自 2019年 7月1日 至 2020年 6月30日

[税込] (単位: 円)

(一般正味財産増減の部)		
【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	100,000	
応援団受取会費	444,000	544,000
<hr/>		
【受取寄付金】		
受取寄付金	3,551,899	
一般寄付金	(500,000)	
指定正味財産からの振替額 (助成事業用)	(2,697,130)	
指定正味財産からの振替額 (運営費分)	(354,404)	
指定正味財産からの振替額 (手数料分)	(365)	
ボランティア受入評価益	1,817,000	5,368,899
<hr/>		
【受取助成金等】		
受取助成金	320,000	
非営利組織評価センター	(20,000)	
損保ジャパン	(300,000)	320,000
<hr/>		
【その他収益】		
受取 利息		4
経常収益 計		6,232,903
<hr/>		
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
ボランティア評価費用	1,524,000	
人件費計	1,524,000	
<hr/>		
(その他経費)		
支払助成金	2,697,130	
報 償 費(事業)	378,096	
業務委託費 (事業)	120,000	
印刷製本費(事業)	136,488	
会 議 費(事業)	13,700	
会 場 費(事業)	19,400	
旅費交通費(事業)	93,512	
通信運搬費(事業)	85,155	
消耗品費(事業)	105,304	
研 修 費 (事業)	16,690	
支払手数料(事業)	10,351	
指定正味財産への振替額	399,600	
その他経費計	4,075,426	
事業費 計		5,599,426
<hr/>		
【管理費】		
(人件費)		
ボランティア評価費用	293,000	
人件費計	293,000	
<hr/>		
(その他経費)		
印刷製本費	21,780	
会 議 費	8,440	
旅費交通費	58,008	
通信運搬費	21,780	
消耗品費	32,488	
諸会費	10,800	
租税公課	2,700	
その他経費計	155,996	
管理費 計		448,996
経常費用 計		6,048,422
当期経常増減額		184,481
<hr/>		
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
<hr/>		
【経常外費用】		
経常外費用 計		0
<hr/>		
税引前当期正味財産増減額		184,481
当期一般正味財産増減額		184,481
前期繰越一般正味財産額		458,512
次期繰越一般正味財産額		642,993
<hr/>		
(指定正味財産増減の部)		
I 受取寄付金		
指定寄付金	2,861,750	
一般正味財産からの振替額	399,600	
受取利息	52	
受取寄付金 計		3,261,402
<hr/>		
II 一般正味財産への振替額		
支払助成金として振替	2,697,130	
運営費分として振替	286,175	
運営費分として振替	68,229	
決済手数料分	365	
一般正味財産への振替額 合計		3,051,899
当期指定正味財産増減額		209,503
前期繰越指定正味財産額		6,239,100
次期繰越指定正味財産額		6,448,603
次期繰越正味財産額		7,091,596

財務諸表の注記

2020年 6月30日 現在

1. 【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

2. 【事業費の内訳】

事業別の費用の内訳は以下の通りです。

(単位：円)

科目	寄付金募集・管理事業	助成事業に関する事業	資金調達・運営相談事業	認定NPO法人取得準備事業(損保ジャパン助成)	情報発信・広報・啓発事業(ホームページ等情報発信)	情報発信・広報・啓発事業(ハチドリCafe)	協働提案・政策提言事業	事業合計	管理費	合計
(人件費)										
ボランティア評価費用	324,000	563,000	40,000	118,000	200,000	259,000	20,000	1,524,000	293,000	1,817,000
人件費計	324,000	563,000	40,000	118,000	200,000	259,000	20,000	1,524,000	293,000	1,817,000
(その他経費)										
支払助成金		2,697,130						2,697,130		2,697,130
報償費	77,500	89,096		85,000	63,500	63,000		378,096		378,096
業務委託費				120,000				120,000		120,000
印刷製本費	5,680	18,980		83,733	15,675	12,420		136,488	21,780	158,268
会議費		13,700						13,700	8,440	22,140
会場費		12,830		6,570				19,400		19,400
旅費交通費	16,530	30,585	1,760	28,306	3,330	13,001		93,512	58,008	151,520
通信運搬費	28,055	19,320		25,700	1,650	10,430		85,155	21,780	106,935
消耗品費	69,356	9,147		13,161	12,320	1,320		105,304	32,488	137,792
諸会費									10,800	10,800
研修費			16,690					16,690		16,690
支払手数料	365	9,436		550				10,351		10,351
租税公課									2,700	2,700
指定正味財産への振替額		399,600						399,600		399,600
その他経費計	197,486	3,299,824	18,450	363,020	96,475	100,171		4,075,426	155,996	4,231,422
合計	521,486	3,862,824	58,450	481,020	296,475	359,171	20,000	5,599,426	448,996	6,048,422

3. 【施設の提供等の物的サービスの受入】

法人の事務所は、特定非営利活動法人ぎふNPOセンター内にあり、当分の間、家賃等の負担を免除していただいています。

ただし、施設受入評価益としての計上はしていません。

4. 【活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳】

(単位：円)

内容	金額	算定方法
専従事務局スタッフ		
1名×1,150時間@1,000円=1,150,000円	1,817,000	単価は1,000円/時で計算しています。
1名×278時間@1,000円=278,000円		
ぎふNPOセンター職員による		
1名×156時間×@1,000円=156,000円		
1名×186時間×@1,000円=186,000円		
1名×47時間×@1,000円=47,000円		

5. 【使途等が制約された寄付等の内訳】

使途等が制約された寄付金等の内訳（指定正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

助成事業への寄付金口座は、法人の活動に使える口座（一般正味財産）と区別して管理しています。

当法人の正味財産は、7,091,596円ですが、そのうち下記の6,448,603円は、助成事業に使用される財産（指定正味財産）です。

したがって、使途が制約されていない正味財産（一般正味財産）は642,993円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
大垣共立銀行（助成事業用口座）	5,786,418	2,440,107	2,517,116	5,709,409	各口座の増加額は、主に受取寄付金と口座間の移動によるものです。減少額は、口座間の移動（主に助成事業専用口座への移動）と、2019年度助成事業の支払い及び一般正味財産への振替によるものです。2019年度助成事業の支払いと運営費の振替額および振替予定額は、活動計算書に計上されています。助成事業用特定資産合計額と指定正味財産との差額は、未収金と期末後に判明した振替予定額です。
十六銀行 2ふれあい(寄付金用口座)	180,000	1,161,364	974,888	366,476	
大垣共立銀行ふれあい(寄付金用口座)	14,204	1,160,693	1,165,000	9,897	
東海ろうきん 岐阜支店(寄付金用口座)	248,243	603,245	584,976	266,512	
東濃信金 那加支店(寄付金用口座)	7,185	61,000		68,185	
助成用現金	3,050		3,050		
助成事業用特定資産 合計額	6,239,100	5,426,409	5,245,030	6,420,479	
未収金(旧口座入金分)		20,143		20,143	
未収金(一般正味財産から振替予定)		10,000		10,000	
未払金(一般正味財産へ振替予定)			2,019	△ 2,019	
指定正味財産 合計額	6,239,100	5,456,552	5,247,049	6,448,603	

2020年度事業計画と予算

2020年度 活動予算書

2020年7月1日～2021年6月30日 (単位:円)

期間:2020年7月1日～2021年6月30日

1 事業実施の方針

法人になって4期目。今までの助成事業の成果を検証し、助成メニュー、募集要項の見直しをする。また、昨年度3月に取得できた認定NPO法人格を活かして、支援者・寄付者を増やすとともに、災害等の非常事態にも対応できるような新たな寄付と助成の仕組みを検討、構築していく。

(1) 寄付金等の募集と管理に関する事業

- ①寄付募集チラシ、リーフレット等の配布
リーフレットや昨年度作成したチラシを県内の公共施設、募金箱設置機等に配布する。
- ②新しい支援の提案と支援依頼
企業・団体等に、いろいろな支援方法（寄付付き自販機、募金箱設置など）を提案し、協力企業・団体を増やす。
- ③寄付税制の優遇についての周知
ホームページやパンフレット等で、認定NPO法人に与えられた寄付税制の優遇制度についての周知を促進する。

(2) NPO等に対する助成事業に関する事業

- ・2020年度助成団体の事業の報告をまとめ精査、支払いを行う。
- ・これまでの助成事業の募集要項を見直すため、助成団体、寄付者等にヒアリングやアンケートを実施、新しい助成の仕組みやメニューを検討する（東海ろうきんNPO育成助成事業）。
- ・2021年度助成事業の募集内容を検討し、募集要項の作成、事業募集、審査と決定までを行う。

(3) NPO等の資金調達支援・運営相談・コンサルティング事業

- ①会計・運営サポート
助成対象団体に対して、会計や運営の相談に乗り、助成金申請ができるようにする。
- ②研修会参加
資金調達、コンサルティングのスキルアップのため、研修会に参加する。

(4) 情報発信・広報・啓発事業

- ①ホームページ等の管理と運営
各事業や助成団体の活動紹介など、情報の更新をタイミングを逃さずに行う。
 - ②ハチドリCafeの開催
応援団や団体の協力を得て、対象や目的を絞ったハチドリCafe（交流会）を、オンライン交流など開催方法を工夫して、小規模でも開催できるようにする。
 - ③寄付者・支援者との関係づくり
活動に関する情報を定期的に送り、コミュニケーションを図る。
- (5) 第4条に掲げた活動に係る課題解決のための協働提案・政策提言事業
他団体のイベントや地域ネットワークの集まりに参加し、地域課題の把握に努める。

2 事業の実施に関する事項

事業名	具体的な事業内容	事業費の予算額 (単位:千円) * ()内はボランティア受入評価費用
寄付金等の募集と管理に関する事業	・寄付募集チラシ・リーフレット・パンフレット等の作成と配布 ・支援方法の提案、支援依頼	385 (200)
NPO等に対する助成事業に関する事業	・審査委員会の運営 ・助成事業募集 ・個別相談 ・授与式の運営 ・申請、報告等の管理事務 ・助成事業精算 ・募集要項の見直しと新メニューの検討（東海ろうきん助成事業）	5056 (650)
NPO等の資金調達支援・運営相談・コンサルティング事業	・団体の会計・運営サポート ・研修会への参加	110 (80)
情報発信・広報・啓発事業	・ホームページ等の管理・運営 ・広報物の作成 ・ハチドリCafe（地域交流会）の開催 ・寄付者、支援者との関係づくり	735 (400)
第4条に掲げた活動に係る課題解決のための協働提案・政策提言事業	地域のネットワークづくりのための各種会議への参加（他団体行事への協力、参加）	70 (50)

科目	金額	
一般正味財産増減の部		
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	100,000	
応援団(賛助会員)受取会費	800,000	
受取会費計		900,000
2 受取寄附金		
運営への寄付金	500,000	
指定正味財産からの振替(助成事業分)	3,139,856	
指定正味財産からの振替(運営費分)	400,000	
ボランティア受入評価益	1,730,000	
受取寄附金計		5,769,856
3 受取助成金等		
東海ろうきんNPO育成	300,000	
受取助成金計		300,000
4 事業収益		
事業収益計		0
5 その他収益		
雑収益	0	
その他収益計		0
経常収益計		6,969,856
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
ボランティア受入評価費用	1,380,000	
人件費計		1,380,000
(2) その他経費		
支払助成金	3,139,856	
報償費	430,000	
業務委託費	120,000	
印刷製本費	100,000	
会議費	35,000	
会場費	40,000	
旅費交通費	160,000	
通信運搬費	128,200	
消耗品費	73,000	
研修費	15,000	
支払手数料	15,000	
指定正味財産への振替額	720,000	
その他経費計		4,976,056
事業費計		6,356,056
2 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	24,000	
ボランティア受入評価費用	350,000	
人件費計		374,000
(2) その他経費		
報償費	50,000	
印刷製本費	10,000	
通信運搬費	5,000	
会議費	10,000	
会場費	40,000	
旅費交通費	50,000	
消耗品費	20,000	
諸会費	13,200	
支払手数料	2,000	
租税公課	3,000	
その他経費計		203,200
管理費計		577,200
経常費用計		6,933,256
当期経常増減額		36,600
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
当期一般正味財産増減額		36,600
前期繰越一般正味財産額		642,993
次期繰越一般正味財産額		679,593
指定正味財産増減の部		
I 受取寄付金		
指定寄付金	4,000,000	
一般正味財産からの振替額	720,000	
受取寄付金 合計		4,720,000
II 一般正味財産への振替額		
助成用資金としての振替	3,139,856	
運営費分としての振替	400,000	
一般正味財産への振替額 合計		3,539,856
当期指定正味財産増減額		1,180,144
前期繰越指定正味財産額		6,448,603
次期繰越指定正味財産額		7,628,747
次期繰越正味財産額		8,308,340

ぎふハチドリ基金への寄付について

【振込の寄付】

郵便振替口座 00880-6-190902 ぎふハチドリ基金
十六銀行 県民ふれあい会館出張所 普通 1090484 ぎふハチドリ基金
大垣共立銀行 県民ふれあい会館出張所 普通 14395 ぎふハチドリ基金
東海労働金庫 岐阜支店 普通 336184 ぎふハチドリ基金
東濃信用金庫 那加支店 普通 0907286 ぎふハチドリ基金
* 旧口座に入金があった場合は、随時、法人の口座に移します。
* 寄付金を振り込んでいただいた場合は、事務局までご連絡ください。

【ネットからの寄付】

ソフトバンクの「つながる募金」の仕組みを利用し、
クレジットカード決済の他、Tポイントでの寄付もできます。
ホームページの「つながる募金」のバナーから、ぎふハチドリ基金への寄付専用サイトに入れます。

【東海ろうきんNPO寄付システムからの寄付】


東海ろうきんの普通預金口座から、毎月100円単位で引き落としによる寄付ができます。
手数料はかかりません。
詳しくは、事務局または東海ろうきんの各支店の窓口にお問い合わせください。

【募金箱への寄付】

ぎふハチドリ基金が設置を依頼した募金箱には、ぎふハチドリ基金のステッカーがついています。
協力店舗、イベント会場での協力をお願いいたします。

【羽島市ふるさと納税の返礼品】

2020年8月末より、「ぎふハチドリ基金への支援」が、羽島市のふるさと納税の返礼品になりました。
羽島市へのふるさと納税10,000円に対して、3,000円がぎふハチドリ基金の支援になります。
「ふるさとチョイス」のサイトをご覧ください。

 つながる募金



【お問い合わせ先】

認定特定非営利活動法人ぎふハチドリ基金
〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-12
シンクタンク庁舎3F ぎふNPOセンター内
TEL 058-275-9739 FAX 058-275-9738
Mail hachidori@gifunpo-fund.org